

ひまわり吹奏楽団だより

No.10

ひまわりのように
夢に向かって
まっすぐに



仙台市立向陽台小学校
ひまわり吹奏楽団
令和5年8月23日

コンクール県大会・審査員の先生方からの講評

○大塚 哲也 先生（東京フィルハーモニー交響楽団 テューバ奏者）

- ・スケールの大きいドラマティックな音楽、演奏でした！
- ・ひとりひとりの奏者が落ち着いて、堂々と演奏していました！

○奥田 昌史 先生（元・東京交響楽団首席ティンパニー奏者）

充実したサウンドがあり、気持ちの分かる演奏でした。聴きやすいのですが、メロディや伴奏といった役割を大切にしましょう。また、各自の低音域や unison は丁寧に捉えましょう。Perc はセンス良かったです。

○黒岩 真美 先生（シエナ・ウインド・オーケストラ クラリネット奏者）

とても難しい曲にチャレンジし、すごいですね！！弱奏がとっても美しかったです。こう吹きたい！！という意志がある部分の吹きっぷりが素晴らしかったです。ブラボー！！先生の熱い指揮、愛があるな～！ブラボー！！

○郡 恭一郎 先生（昭和音楽大学講師／シエナ・ウインド・オーケストラ トロンボーン奏者）

たっぷり吸って伸びやかに。なかなか雰囲気有りますね。もう一息、ブレンドするのと、ピッチ、ハーモニー、ユニゾンなど、出来るだけ合うと良いですね。なるべく的確なイントネーションと pitch で吹けると更に良いですね。本体と Perc のバランスにも上手く気をつけたいですね。コーラルはなかなかきれいですね。人数が多いので、それが良い場合と、にごり等多めに出てしまったり・・・ムラをなくしたいですね。ハートはありますね！

○辻 功 先生（洗足学園音楽大学教授・学部長補佐 オーボエ奏者）

- ・表情豊かで感動的な演奏でした！
- ・木管楽器の音色、とても美しかったです！
- ・バランス、音程も良かったです。

○原 進 先生（洗足学園音楽大学講師 トランペット奏者）

明るくて素直なサウンドで丁寧に表現できていて良いですが、弱奏部では響きが少し不安定になったり、表情が伝わりにくくなってしまっている印象があります。息の流れ・支えをたっぷりさせて、「小さく」ではなく「深くて豊かな響き」を作るようなイメージで演奏してみましょう。Tutti サウンドも良好ですが、弱奏時に低音の響きが充実してくるとバンドのサウンドが更に安定したり色彩も生まれるので、息を使ってしっかり鳴らしてみましょう。今後の成長が楽しみなバンドです。頑張ってください！

○広瀬 勇人 先生（作曲家）

音程が良く、明るいサウンドでした。木管楽器のユニゾン、アンサンブルがとてもよいので、そのまま木管の1人1人があと少しずつ楽器が鳴るようになるとバンド全体の鳴りがよくなって、ボリューム感が出ると思います。金管中音パート（Hr、Trb、Euph）もう少しだけハーモニーを鳴らした方が、バンド全体が太く豊かに聞こえると思います。

審査員の先生方から、今後の演奏につながるアドバイスをたくさんいただきました。

東北大会へは惜しくもあと一歩及ばず・・・でしたが、次のステージでは審査員の先生方からいただいたアドバイスを生かして練習に取り組み、ひまわり吹奏楽団の迫力ある「輝きの海」を作りあげていきましょう！